12月定例議会 行政報告（1）

平成25年12月定例議会は、12月3日に開会し13日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また5日、6日には一般質問が行われました。9日からは、各常任委員会で付託された議案を審議し、13日の最終日に採決が行われました。

12月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

総務部関係

■総務課

平成25年度職員採用試験は、大学卒一般行政6人、消防吏員7人、高校卒一般行政6人、建築士1人を合格者として、それぞれ告示しました。

北秋田市民歌の歌詞については、最優秀賞1点及び優秀賞3点が10月29日に決定しました。今後、最優秀賞となった作品を基に、作曲の応募者によって曲の制作が1月末まで行われます。

■総合政策課

第29回国民文化祭あきた2014のプレ事業として、10月6日と13日に「根子フットパス」を行い、合わせて92人が根子集落の散策や根子番楽を楽しみました。また、10月20日には、秋田の詩祭2013「詩表現を楽しむつどい」を行い、約60人が参加しました。

▲山梨県笛吹市で開催された、国民文化祭文芸祭現代詩大会の引継式

10月27日、山梨県笛吹市で開催された第28回国民文化祭文芸祭現代詩大会において、笛吹市から次期開催市である当市が引継ぎを受けました。

住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的に、5年ごとに10月1日を基準日として行われる「平成25年住宅・土地統計調査」が、市内約2500世帯を対象に実施されました。この調査では、少子・高齢社会を支える居住環境、耐震性・防火性・省エネルギー性などの住宅性能、土地の有効利用の状況、東日本大震災による転居等に関する実態を明らかにすることにしています。

■内陸線再生支援室

秋田内陸線の利用促進、沿線地域のグラウンド・ゴルフ愛好者の健康増進及び他クラブとの交流を目的とした、第7回秋田内陸線グラウンド・ゴルフ交流大会が9月4日、大野台ハイランドで行われ146人が参加しました。

観光誘客の拡大及び地域経済の発展に寄与することを目的に設立された森吉山二次アクセス運営協議会による「森吉山観光パス」事業は、二次アクセス関連の実証実験として100枚のチケット販売目標に対し、9月から10月の約2か月で263枚の販売実績となり、利用された方に大変好評でした。

財務部関係

■財政課

8月14日から11月12日までの工事等発注状況（500万円以上）は53件、契約額は27億2093万1千円です。

■税務課

10月末現在の市民税等の収入状況は、収入済額24億2234万円で、62・7％の収納率です。

市民生活部関係

■生活課

市民提案型まちづくり事業は、応募のあった5団体が採択され、事業を実施中です。

「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに、10月11日から20日まで全国地域安全運動を実施し、防犯指導隊や防犯協会員による一斉パトロールを行いました。

「子どもと高齢者の交通事故防止」などを運動の重点として、秋の全国交通安全運動を9月21日から30日まで実施しました。運動初日の9月21日には、警察署や各地区の交通安全協会及び交通指導隊員などが参加し、決起集会や交通安全パレードを行い、市民に対して交通事故の防止を呼びかけました。

▲市役所前で行われた、鷹巣地区総決起集会

全市一斉秋のクリーンアップは、10月20日早朝に実施され、地域の皆さんの協力で市内の清掃が行われました。

10月30日、市道大野岱線の大沢～米畑地内等において、住民ボランティア、北秋田地域振興局、警察署、市、産業廃棄物協会の参加による「美しいふるさと北秋田クリーンアップ事業」が実施され、不法投棄物を回収し、市内の環境美化に努めました。

健康福祉部関係

■福祉課

本年度秋田県から事務移譲された社会福祉法人監査は、10月から対象となる4法人に対し、指導監査を実施しました。

全国一斉に行われた民生児童委員の改選は、定数150人の内、国への推薦期日までに、各地区等からの推薦が決まらなかった方々を除き、再任者100人、新任者2人に厚生労働大臣から12月1日付けで委嘱状が交付されました。任期は3年です。

▲改選に伴い、新たな民生児童委員へ委嘱状が交付されました

北秋田市要保護児童対策地域協議会では、県と共催で11月の児童虐待防止推進月間及びDV防止推進月間のキャンペーンを11月8日に鷹巣地区2か所、合川地区1か所のショッピングセンター等で実施しました。

■高齢福祉課

「福祉の雪事業」は、今年度から助成対象者の一部見直し等を行い、10月から利用者及び事業者の登録と募集を行っています。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、冬期間における、在宅生活に必要な除排雪及び雪下ろし等への支援に取り組んでいきます。

地域支援事業は、介護予防を推進するため、ケアマネジャーや介護サービス事業所等の職員を対象として、本年2回目の「介護予防研修会」を10月24日に開催しました。参加者は7月実施と合わせて88人です。

在宅で高齢者を介護している方を対象とした「家族介護者交流会」を、市内7か所で開催し58人が参加しました。参加者からは大変好評で、今後も要望に応えながら事業を継続していきます。

■医療推進課

市民病院の院外再来受付機を、10月7日に阿仁庁舎に設置しました。10月31日までの利用人数は99人です。

市医療講演会を、11月16日に中央公民館で開催しました。講師は、市民病院で実際に手術していただいている秋田大学の本山先生と東京医科歯科大学の小嶋先生を予定していましたが、当日、小嶋先生の搭乗機が濃霧のため大館能代空港に着陸することができず、羽田空港に引き返したことから、本山先生お一人の講演となりました。講演は先進癌治療についての非常に興味深い内容で、市民約150人が熱心に聴講しました。

■診療所

8月から10月までの市3診療所の外来患者数は次のとおりです。

阿仁診療所は、内科2486人で前年同期比229人の減、外科285人で前年同期比171人の減、歯科696人で前年同期比3人の減です。合川診療所は3096人で、前年同期比1001人の減です。米内沢診療所は、内科4102人で前年同期比478人の減、小児科471人で前年同期比44人の減、整形外科920人で前年同期比291人の減、脳血管外科284人で前年同期比1人の減、心臓血管外科62人で前年同期同数です。

■健康推進課

成人検診は、特定健診及びがん検診推進の一環で11月、土日開催の追加検診を実施しました。今年度は電話での受診勧奨のほか、市内イベントでキャンペーンを行いました。

介護予防事業は、一次予防としての運動教室のほか、二次予防対象者に運動・口腔の機能向上・栄養改善・閉じこもり予防等の事業を実施しています。また、11月から12月にかけて「介護予防ボランティア養成講座」を5回開催しています。

自殺予防対策としては、「ホッと・あい訪問」のほか、11月22日には「心の健康づくり講演会」を開催しました。

健康増進事業は、「健康・スポーツフェスタ」「産業祭」で健康チェックなどを行い普及啓発に努めました。

▲5歳児のむし歯のない子を表彰した「健康・スポーツフェスタ」